

ねっとわーく水沢

<第 84 号> 2021 年(令和 3 年) 1 月 25 日(月曜日)
編集・発行 水沢地区振興会内、水沢地区広報委員会
事務局 水沢公民館内 電話 758-3101 FAX 758-3102
E-mail:mizusawa-k@city.tokamachi.lg.jp

地区内世帯数・人口(12月末日現在)
1,809世帯 4,976人

(男 2,439人 女 2,537人)

前年同月比

世帯 ±0 件 人口 -104 人



越後水沢駅と飯山線除雪車両 M C R

今から 92 年前の 1929 年、十日町・飯山間が開通して飯山線となった。この間、豪雪はもちろん、トンネル陥没、新潟県中越地震、長野県北部地震、ローカル線合理化。様々な災害、社会的、経済的变化を乗り越え不死鳥のごとく、地域の足として蘇る飯山線。



◆ 漢詩、編集後記、他	12	11	11	◆ 読者欄	◆ 地域の活動	◆ 丑年の方に聞きました	◆ 学校・保育園便り	◆ 水沢中学校、水沢小学校	◆ 馬場小学校、あおのもり	◆ 水沢南部保育園	◆ 駐在便り	◆ 年頭の挨拶	◆ 特集記事
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
				10	10	10	7	6	6	6	6	3	2

目
次

謹
賀
新
年

新春特集



「水沢地区農業連絡協議会設立 10 周年と収穫感謝祭を祝う」

水沢地区農業連絡協議会会长 宮澤 八州男



農家の皆様の出荷できる野菜の状況をお知らせください。
学校給食などに紹介します。

令和 2 年 12 月 3 日二葉家にて開催

奥平百合 氏の講話

地域農業者の連携と地域農業の発展を目的に立ち上げた会ですが、目出度く設立 10 周年になりました。案内なんか出さないでくれと非協力的な農家もまだ多く、地域全体をまとめるまでには至っていませんが、農家の協力し合うことで地域農業はまとまり、発展していくものと思っています。今年度から地産地消に取り組み学校給食の応援をしてきました。農家全体に広めたいと考え、お祝いの前に学校給食の食材担当の地産地消コーディネーターの奥平百合様から講話を頂きました。10 周年と一年の収穫に感謝し、コロナ対応ではありましたが、お祝いをすることが出来ました。

この事業は、実行委員長である富井教雄さんが大地の芸術祭の「おもてなし事業」の感動をきっかけに馬場と水沢地域の宝物として何かしたいという想いから始めたことで、地元ボランティアや慶應義塾大学メディア研究科の方など大勢の方々からご協力頂き、三年計画で進めてきました。市のパワーアップ事業の補助金制度や県の中越震災復興支援金などを利用しながら、事業費用総額五百万円掛けで完成することが出来ました。デザインや設計などの依頼を受けた慶應義塾大学メディア研究科教授石川初先生は、以前よりホテルベルナティオさんとの関わりがあり、今、事業はウエディングに力を入れたいという意向も踏まえ、越後水沢駅をウエディングトレインからのウェルカムガーデンとして、セレブレーションなウエディングのスタートであつて欲しいと提案したという。大地の芸術祭のジミー・リヤオさんの可愛らしい作品や、地域で咲いているたくさんの草花との繋がりを隔てることがないように、奇抜で立派な建物ではなく、自然豊かな景観をそのまま活かした空間にする。さらに地元住民の方から庭の手入れや備品の管理などを簡単に出来ることで、長く親しまれ、いつまでも地域の皆さんに愛される交流の場であり、地域行事の展開など有効に活用していきたいと考えている。



季節によって替えることが出来る駅の看板

『越後水沢駅美観整備授業 完成！』

年頭の挨拶

新年の挨拶

水沢地区振興会長 川田一幸



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスの出現により、多くのイベントや会議、懇親会などの開催が中止や延期になり、現在も第3波とも言われ過去最大の感染者が確認されるなど収束の兆しは見えないのが現状です。

コロナウイルスの出現により人の移動や行動が感染リスクを上げることから今年の新年会の多くは中止を余儀なくされているのが現状です。一人一人が注意することが感染の拡大を阻止することになると思いますので、みんなで感染症対策をとり、一日も早いウイルスの収束を図ることが、地域の経済活動が早期に活発化し、振興会としての新たな行動計画づくりである元気プロジェクトが本格活動できると考えています。

昨年は、水沢駅の美観整備事業が3カ年計画の最終年として、完成模擬結婚式のウェディングトレイン（飯山線の土市駅から新郎新婦が乗り水沢駅に降りウェディングゲートを通りオープンカーでホテルベルナティオまで）を挙行致しました。当日は、雨の予報でしたので雨が降るものとして計画していましたが、快晴となり盛会裏に終了しました。ご指導いただきました慶應義塾大学石川研究室の生徒及び地元の馬場・水沢集落とのコラボでウエルカムガーデンが誕生致しました。ぜひ、一度ご覧頂きたいと思います。今年は、大地の芸術祭の開催年でもありますので、完成したウエルカムガーデンの披露イベントが開催できることを願っています。

今年の振興会の新たな事業として、水沢地域の活動にご支援頂き、地域の物産でお楽しみいただける、ふるさと納税のお願いを発信したいと考えています。その企画を考えているのが元気プロジェクトで

す。地域の皆様のお知り合いの方や都会で活躍の方など、地域の取り組みにご協力頂く人の紹介を振興会として地域の皆様にお願いしたいと考えています。準備が整いましたら役員を通じて発信していきたいと考えていますので何卒ご支援ご協力頂きますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスが収束し、これまでの日常が戻る事を切に願っております。本年が皆様にとりまして素晴らしい良き年となります事をご祈念申し上げご挨拶といたします。

年頭のご挨拶

水沢商工会長 富井久雄

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の輝かしい新春を迎えて、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年中は水沢商工会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年はオリンピック・パラリンピックが開催される年として、希望にあふれたスタートを切りました。暖冬で穏やかな正月でした。既にその頃、新型コロナウイルス感染症がすぐそばに忍び寄つてはいるとは全く認識していませんでした。3月に入り、我々地域においても事の重大さを実感しました。初の緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛や学校の休業要請などが行われたほか、さまざまな事業が中止となり地域経済への打撃も著しい状況でした。一時は経済対策の効果もあり、持ち直した感もありましたが、第3波で厳しい状況に戻ってしまいました。まだまだ感染症対策を緩められるわけにはいきません。しかし、「明けない夜はない」といわれています。早ければ国内でも2月からワクチン接種も開始されるといわれています。必ずコロナウイルスに打ち勝つでしょう。希望を持ってコロナ終息後の地域づくりを、今だからこそ力を合わせて考え



ていかなければと思つています。

そこで今、「観光以上移住未満」の関係人口に注目が集まる中で、さらに一歩進んだ「逆参勤交代」が提案されています。これは、大都市圏社員の「地方での期間限定型リモートワーク」で、江戸時代の参勤交代とは逆に東京から地方に人の流れを創ることで、オフィスや住宅が整備され、関係人口が増加する。一方、社員は、通勤時間が短くなり、ゆとりある環境で仕事に集中できる。週に数日は本業、数日は地域との交流もはかる。まさに地方創生と働き方改革を同時に実現するというアイディアです。水沢地域の環境を考えたとき、まさに、ふさわしい地域だと思います。今こそ他に先駆けて地域一丸となつて勉強・研究を開始するときと考えています。

本年は丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢」「これから発展する前触れ」というような年になると言わっています。本年は皆でコロナを克服し、その中から数々のイノベーションが生まれ、希望に満ちた年になることを願っています。

終わりに、本年一年も地域の皆様方から、水沢商工会に対しまして、引き続き、ご支援、ご協力を賜ることをお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます

新年のご挨拶



十日町市議会議員 宮澤 幸子

明るい未来へ期待を込めて

十日町市議会議員 福崎 哲也



新春にあたり、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症による経済への影響も深刻でありましたが、秋口は持ち直しもあり各種政策の効果も表れ、この状況が続くことを期待しますが感染症が経済に与える影響は甚大といえます。当市の歳入も景気の悪化、税制改正や人口減少による市民税の減収、固定資産税では評価替えや償却資産の減少により減収となるなど、市税全体で減額になる方向です。国からの普通交付税も令和2年度で合併算定替条例加算措置が終わると、国税調査の人口減少の影響も重なり増額は見込めないとしていま

との闘いになりますので、気を緩めることなく手洗い、うがい、マスクの着用は最低限に守り、更なる感染予防に努めて頂きたいと願うものです。

さて、市政では十日町市において最も重要なとされる第二次十日町市総合計画を策定中です。市政には多くの計画が作られていますが、この計画は市政運営上では一番上にくる計画です。当に行政のあらゆる分野を示す羅針盤と言えますので市民の皆様の生活を守る、命を守るためにしっかりと取り組んで参りたいと思います。そして、水沢地域においても大きな動きが期待される高規格道路の整備促進がございます。十日町インターチェンジの周辺整備に伴う高山水沢線の道路改良、インターに夢を語れる「道の駅」を造ろうなど具体的な事が着実に進んでおります。この流れを止めることなく一步一歩前進させるために水沢地区振興会、インター推進協議会と共に強く要望を重ねて参ります。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多き年になりますよう御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭に当たり謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの感染症の影響が人命、経済を始めとしてすべての生活にわたり全世界を震撼させました。皆様方も日々の生活、お仕事に新しい生活様式を取り入れざるを得なく不自由な思いをされている事と思います。そして、長丁場のコロナウイルス

の闘いになりますので、気を緩めることなく手洗い、うがい、マスクの着用は最低限に守り、更なる感染予防に努めて頂きたいと願うものです。

さて、市政では十日町市において最も重要なとされる第二次十日町市総合計画を策定中です。市政には多くの計画が作られていますが、この計画は市政運営上では一番上にくる計画です。当に行政のあらゆる分野を示す羅針盤と言えますので市民の皆様の生活を守る、命を守るためにしっかりと取り組んで参りたいと思います。そして、水沢地域においても大きな動きが期待される高規格道路の整備促進がございます。十日町インターチェンジの周辺整備に伴う高山水沢線の道路改良、インターに夢を語れる「道の駅」を造ろうなど具体的な事が着実に進んでおります。この流れを止めることなく一步一歩前進させるために水沢地区振興会、インター推進協議会と共に強く要望を重ねて参ります。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多き年になりますよう御祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

す。厳しい財政状況の中、将来にわたって持続可能な財政運営をしていかなければなりません。ここまでは市政の厳しいお金の話であります。が明るい話題もあります。元日のニューレイヤー駅伝では十日町の期待の星、服部勇馬選手が5区に出場、みごと区間賞! 東京オリンピックに向けてメダルへの期待が高まり、年初め順調なスタートとなり十日町市の朗報となりました。また全国高校サッカーでは、新潟県代表帝京長岡高校が市立船橋高校を下し、見事前年同様ベスト4進出とスボーツ界では地元を含め、県全体としても明るい話題があり、市民、県民は元気をもらいました。十日町市も東京オリンピック、クロアチア選手団のホストタウンですので、国際交流で十日町の元気に繋がれば良いと思います。

最後に、今年一年が明るく希望が持てる年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

丑年の格言より新年を占う

十日町市議会議員 富井 高志



あけましておめでとうございます。

令和三年丑年のスタートにあたり、インターネットで丑年にまつわる言葉を検索してみました。いくつかある中で、『牛の歩みも千里』が一番気に入りました。意味は、何事もなまけずに努力を重ねれば、最後には成果が得られるというたとえ。今年一年この言葉を大切にしたいと思います。

丑年は成果が得られるということで、勝手に令和三年、世の中の出来事番付を予想してみました。

東の横綱は「人類、新型コロナを克服」、西の横綱「東京オリンピック」。世界中が歓喜の渦。東の大関「大地の芸術祭、大盛況」、西の大関「コロナ終息、空前の好景気」。東の関脇「人々の交流が盛ん、新たな絆が生まれる」、西の関脇「実家でのんびり、久しぶりに揃う、みんなの笑顔」。

す。厳しい財政状況の中、将来にわたって持続可能な財政運営をしていかなければなりません。ここまでは市政の厳しいお金の話であります。が明るい話題もあります。元日のニューレイヤー駅伝では十日町の期待の星、服部勇馬選手が5区に出場、みごと区間賞! 東京オリンピックに向けてメダルへの期待が高まり、年初め順調なスタートとなり十日町市の朗報となりました。また全国高校サッカーでは、新潟県代表帝京長岡高校が市立船橋高校を下し、見事前年同様ベスト4進出とスボーツ界では地元を含め、県全体としても明るい話題があり、市民、県民は元気をもらいました。十日町市も東京オリンピック、クロアチア選手団のホストタウンですので、国際交流で十日町の元気に繋がれば良いと思います。

最後に、今年一年が明るく希望が持てる年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

人・自然・地域、すべての笑顔と未来を紡ぐ

株式会社当間高原リゾート 庭野 竜也



まつたく個人的な予想ですが、このご時世、どうしても新型コロナにまつわる話題になってしまいます。しかし、今年は明るいニュースが多くなると思います。牛のようにゆっくりでも、着実に前に進んで行けば、そこには明るい未来が待っています。そして、明るい十日町を目指し、全力で取り組んでまいる所存です。引き続き皆さま方からのご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さま一人ひとりにとりまして健やかで実り多い年になりますよう心よりお祈りいたします

平素より弊社の運営に際し、皆さまのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今般の新型コロナウイルスによってあらゆる業界にて甚大な影響が出ております。弊社に於きましても開業以来初めて、54日間の休館日を余儀なくされました。この54日間の休館日に様々な取り組みを行い、スタッフ全員が成長し、スタッフ全員で団結出来たと感じております。

例えば、「あてま大学」を開講し、ホテルや地域、業界の勉強会を実施する事でのスキルアップはもとより、相互理解を高める事に繋がっております。また、「7プロジェクト」を発足し、今だからこそ未来のベルナティオを想像し、未来のベルナティオを創り上げる7つのプロジェクトをスタートする事が出来ております。さらには、これまでのVISION「あてまVISION2025」を進化させた「あてまVISION2030」を創り上げました。

弊社の経営理念は「人を生かし、お客様に感動をお届けし、地域とともに発展する」でございます。この休館日中において、すべてを見つめ直す機会となりました。当然のことながら、ホテルを含めた観光業界の状況、世の中の情勢は日々変化をしております。私の尊敬する上司に常々、「現状維持＝衰退」と教わってきました。まさに、今般の新型コロナウイルスによって「新しい生活様式」をはじめとし、先々を見据えた様々な状況変化をホテルで行わなければならない状況にございます。スタッフ全員で忌憚なく意見を言い、スタッフ全員で考え、スタッフ全員で喜びを分かち合う事こそが、未来に繋がると考えます。綺麗事だと思われるかもしれません。この綺麗事を全スタッフが理解し、行動した時、現実になります。そして、毎年一歩ずつでも成長し続け、100年企業を目指して参ります。

また、弊社には「A 11 For Smile!」といったブランドスローガンがございます。私たちベルナティオは、このスローガンのもと、「人、自然、地域、すべての笑顔と未来を紡ぐ」ことを目指しております。様々な取り組みを通じて、十日町市の四季折々の自然、魅力溢れる文化や食材をより多くの方に発信し、体感して頂くことが「すべての笑顔と未来を紡ぐ」第一歩になれば幸甚です。



雪の事故にご注意を

土市駐在所 風巻 完



水沢地区の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、警察活動に対しご理解とご協力を頂き大変ありがとうございました。私が土市駐在所に赴任し9か月余りが経過しました。赴任当初から新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な制限を受ける中での業務が続きましたが、住民の皆様のご協力により無事ここまで務めることができます。

きました。

また、昨年末に十日町署員が新型コロナウイルスに感染したことにより、皆様にご心配とご迷惑をお掛けしたことにお詫び申しあげます。

さて、昨冬は記録的な少雪でしたが、今冬は打つて変わつて大雪の日が多くなっています。久しぶりの除雪作業にうんざりしている方もいれば、気合いが入っている方もおられるかと思います。しかし、このシーズンになると必ず発生するのが、雪下ろし時の転落事故や除雪機に手を巻き込まれる事故などの「雪害事故」と呼ばれるものです。今冬、十日町警察署管内では、すでに除雪作業中における死亡事故が発生しています。昨年末の大雪時には、私も駐在所の屋根に上がつて雪下ろし作業をしましたが、久しぶりだったこともあり、落ちやしないかとヒヤヒヤしながらの作業でした。

この地域に住んでいれば、除雪作業は毎年のように行つていることだと思いますが、悲惨な事故に遭わないよう、作業の注意事項として明るい日中に作業し、暖かい午後は雪の緩みに注意する転落に対する備えとして、ヘルメットや命綱を活用するはしごを使用する時は、倒れないようにしっかりと固定する足場の安全を確認しながら作業する

できるだけ複数で、周りの人と声を掛け合いながら作業する体調が悪い時は作業しない
○除雪機に雪が詰まつた時は、エンジンを切り、ローターが止まつたことを確かめてから取り除く
といった点に気を付けていただきたいと思います。
最後になりますが、本年も地域の安全と安心を守る活動に最大限注力して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



学校・保育園便り

【水沢中学校】

笑顔を咲かせる年に

水沢中学校長 山本 俊介



明けましておめでとうございます。

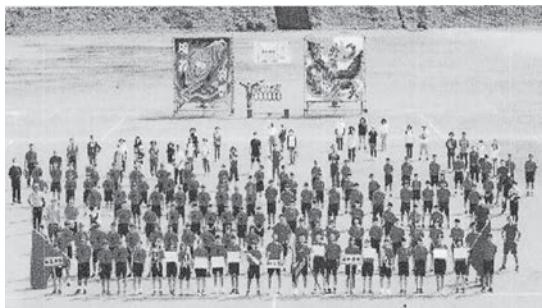
日頃より地域の皆様からは、当校の教育活動に御協力、御支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年はコロナ禍により様々な制限や変更があつた中、目標を見失うことなく前を向いて学校生活を送る生徒たちの姿に元気付けられた一年でした。

生徒たちは、「Flowers たくさん笑顔を咲かせよう」を生徒会スローガンに掲げ、校内での日常活動の充実に努めるとともに、体育祭や合唱祭の行事、小学生や保護者、地域の皆様と協力した「あいさつ交流」や「絆交流（いじめ見逃しゼロスクール集会）」に取り組んできました。地域の皆様から温かい励ましや御支援をいただき、学校内にたくさんの笑顔を咲かせるとともに、地域の皆様にも元気と笑顔を届けることができたと思つております。

昨年一年間、三年生が中心となつて咲かせた花も実を結び、種を付け、その種が一・二年生へと引き継がれようとしています。学校では、二年生を中心とする新しい生徒会役員がきまり、次年度に向けての準備が着々と進められています。

未だ収まらないコロナ禍の中ですが、新しく年も地域の皆様にたくさんの笑顔を届けることができるよう、生徒、職員一丸となつて教育活動を進めていきたいと考えております。引き続き、御協力、御支援を賜りますようお願ひいたします。



【水沢小学校】

水沢小学校養護教諭 羽鳥 泰子



新年あけましておめでとうございます。

日頃より地域の皆様には、学校保健教育活動において多大なるご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

四月より、新型コロナウイルス感染症予防「学校の新しい生活様式」の徹底に四苦八苦しています。しかし、繰り返し働きかける中で、マスクの着用状況をよくするために、保健委員会の子どもたちがオリジナルポスターを作成・掲示し、「マスク着用」を全校に呼びかけるなど、主体的な姿も見られるようになってきました。

水沢中学校区では、望ましい生活習慣の定着を目指した「元気アップ週間」を取り組んでいます。内容は、「早寝・早起き・朝ごはん」、「歯みがき」、そして「家族とおはようあいさつ」「メディア時間」で、一年生には「おはよううんち」も項目に入れています。「なりたい自分」の目標を決め、年三回と長期休業中に実施しています。また、保健委員会は、毎週水曜日に「はてなチェック」を実施してい



望ましい生活習慣の定着を目指した取組は、「自らを律して、自立していく力」「目標に向かってコツコツ頑張る勤勉性」を育成し、「自分でやればできる」という自信にもつながっていくものと考えています。子どもたちの自己実現の基礎となるこの取組を、学校・家庭・地域で協力連携して進めていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

【馬場小学校】

地域・保護者とともに歩む

馬場小学校教頭 山田 直美



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な場面で変化・変更を余儀なくされました。小学校の教育活動も例外ではありません。

通常なら一学期に行う運動会も夏休み明けの九月に延期になりました。小学校は、新型コロナウイルス感染と戦うとともにもう一つの敵と戦わなくてはならなくなりました。その敵とは、グラウンドの雑草です。春先の運動会ならば、雑草が比較的柔らかく、また生え揃わないうちに実施することができます。しかし、今回は夏の日差しをタップリ浴びて立派な雑草がグラウンドを覆いました。トラックもフリールドも草だらけ。学校職員の手だけでは、対応できない状態となりました。

そんな時、手をさしのべてくださったのが、コミュニティースクールの核となる後援会の皆様、そして保護者の皆様でした。二学期開始直前の八月三十日に、各学年総勢二十名の方からお集まりいただき刈払機を使って作業していただきました。また、運動会の一週間前には、保護者の皆様からグラウンドの除草・石拾いをしていました

だきました。グラウンドは見違えるようになりました。そんなグラウンドを見て、子どもたちも自分たちの走るグラウンドを自分たちで整備しようと動きました。運動会当日は、前日からの雨が残るあいにくの天候でした。しかし、地域・保護者・子どもたちが整えたグラウンドで競技に応援に精一杯力を発揮した運動会を行うことができました。地域・保護者が一体となつた教育活動が行われていることを実感した瞬間でした。



【認定こども園あおのもり】

和食の日

あおのもり栄養士 村山 祐子

ごはんにお汁、焼き物や煮物に漬物。日本の国でずーっとむかるの核となる後援会の皆様、そして保護者の皆様でした。二学期開始直前の八月三十日に、各学年総勢二十名の方からお集まりいただき刈払機を使って作業していただきました。また、運動会の一週間前には、保護者の皆様からグラウンドの除草・石拾いをしていました

十一月二十四日は和食の日。年長クラスあお組は、ちょっと難しい「だし」について勉強してみました。お昼前のお組のお部屋。子どもたちはお腹ペコペコの時間、話し始めた私を・・・険しい顔で見つめます。

まずは昆布、かつおぶし、煮干しをそのまま食べてみましょう。くんくん……「においはしないな」、「もぐもぐ……」「かたい」「おいしい」「にがい」。つづいて、それぞれでとった出汁を味わってみます。「いいにおい」「くさい」「あじがするよ」「こっちがおいしいな」。最後に出汁に味噌を入れたカツупを味わうと「みそしるだ」「おいしいね」。

あおのもりキッチン(給食室)前には調理員たちによつて「今日の出汁情報」が書いてあります。その日から「きょうのだしはなーに?」

と必ず気にしてくれるおあ組の子たち、合わせだしも覚えました。

ある日の献立はコーンスープ。出汁情報は「とりがらだし」。○○ちゃんが口をとんがらせて「とりがらだしはべんきょうしてないんだけど!」。5歳児、あじ知つてます!

【水沢南部保育園】

たけのこ発表会を終えて

水沢南部保育園年長・年中担当 桑原 万美子



十二月十一日(土)、当園にて、たけのこ発表会が行われました。今年度は、コロナウイルスの影響で、来場人数に制限をかけての開催となりましたが、子ども達の頑張りをお家の方に見ていただくことができ、本当に良かったと思っています。

十一月初旬から、少しずつ練習を進めてきた子ども達です。初めはステージに立つて表現することに恥ずかしさを感じる子もいましたが、練習を重ねることに、友達と一緒に取り組むことの楽しさを感じられるようになってきました。また、お休みの子がいると、代わりに役を演じ、台詞を補う頼もしい姿も見られるようになりました。自分

地域・保護者が素晴らしい

水沢南部保育園園長 富井 茂



たけのこ発表会での園児の様子は、桑原保育士から紹介してもらいました。例年、当園のたけのこ発表会には、来賓、園児の家族の他に在園児がいない地域の方が大勢来られます。運動会も同

の出番だけでなく、友達の役割にも関心をもちながら、練習に取り組むことが出来てきたのだと思います。同じ目的に向かつて力を合わせ、一緒に創り上げていく心地良さを味わいながら、だんだんとみんなの気持ちが一つになつていきました。

当園は、園児数二十二名と、とても小さな保育園です。毎日、他のクラスと練習を見せ合いながら取り組んでいき



ました。小さな保育園ならではの練習風景かと思ひます。その中で、「今日も他のクラスのお客さん役をしたい」「自分たちの発表を、他のクラスのお友達から見てもらいたい」という思いをもつ子の姿がたくさん見られるようになりました。「素敵な動きをする友達」、「台詞を大きな声で言える友達」、「踊り方が可愛い友達」「年長さんかっこいい」など、それぞれの良さに気付いたり、憧れの気持ちを抱いたりする姿があり、それを伝え合えることが、水沢南部保育園の子ども達の素敵なものだと感じる瞬間でした。発表会を通して、友達との繋がりも深まりました。そして、当日は一人一人が自分の力を発揮し、やり遂げることができました。子ども達が培つた達成感や自信を、これから保育に繋げていきたいと思います。

じでした。これは水沢南部保育園が地域に密着した保育園であり、地域コミュニティの中核であることを意味します。どこの保育園でも同じと思いますが、当園でも、たけのこ発表会の「開会と閉会のあいさつ」を園長がしました。私はその光景に感激しました。校長があいさつしていく中で観客が隣の人とおしゃべりしたり、中にはスマホをはじつて聞いていない観客が相当数いる学校もある中、当園にはそういう観客がいないのです。あいさつしながら会場を見渡すと観客の皆さんと目が合うのです。そして、頷きながら聞いてくれているのです。

閉会のあいさつの時は、園児を親元に帰していましたので、最初はざわついていましたが、しばらくすると大人が子どもを静かにさせて、話を一緒に聞いてくれました。私はこの光景を目の当たりにし、感激しました。そして、この子達は「人の話をしっかりと聞ける子」になると確信しました。大人が自らお手本となり、子どもに生きた教育をしている姿に民度の高さを感じました。今の世の中、とかく自分の行いは省みず、人のせいにしたり、他人に押しつけたりする人が多いように感じます。

とても清々しい、晴れやかな気持ちになり、充実感いっぱいで帰路に着きました。これからも地域・保護者の皆様の期待に応えられるよう職員一同、一層努力して参ります。

伊達 佐藤 小夏（12歳）

土市 5 区 中澤 冬羽（12歳）

- ① 小学校最後の年なので、友達と楽しく過ごしたいです。
 ② バレーボールの練習をもっとがんばって、上手になつて一試合でも多く勝ちたいです。
 ③ 明るく、元気にあいさつをすることです。

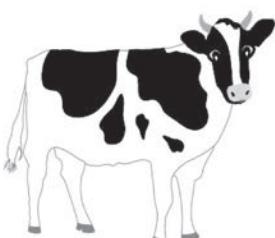


馬場 鈴木 等（48歳）



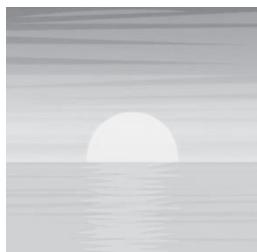
「もう年だから。」と、言い訳にしない年にしたいです。
 どこかに、旅行に行きたいです。
 いつも笑顔で！

丑



- ① 新年はどんな年にしたいですか？
 ② 新年の夢と希望は何ですか？
 ③ 日々の生活で心がけていることは何ですか？

年男、年女。丑年の方に聞きました



姿第一 田中 浩子 (60歳)



- ① 長年勤務した会社を退職するので自分の時間を使いたいです。
- ② 夢は宝くじを当てて優雅な老後を過ごすことです。希望はコロナウイルス感染症が一日も早く終息して、平穏な毎日が戻ってくれることです。
- ③ 健康を維持するために運動をするようにしています。

伊達 井口 敬子 (72歳)



第39回新潟県自治活動賞を受賞して

地域の活動

【水沢女性防火クラブ】

水沢女性防火クラブ会長 櫻澤 秀子



明けましておめでとうございます
日頃、多くの皆様からご支援ご協力をいただき有難うございます。
私たち、市内でただ一つの女性で火災予防の取り組みを行っているボランティアグループです。主な目的は「我が家から火事が出さない」そして、「地域から火災を出さないように呼びかけを行っていく」。という思いで活動を始めました。9名でスタートした防火クラブ員も28名になりました。発足当時は、火災予防の巡回パトロールが主でしたが、初期消火訓練・防災かるた、火災警報器の設置普及や確認のPR・軍手体操等色々やつてきました。なかでも一番の思い出は、発足した翌春のこと、「帰つてこない人がいるので女性防火クラブの皆さんから探して・・・との突然の協力依頼。早速チラシを作つて市街のバス停、駅周辺、商店街へ訪ねに回つたことが昨日の事のように思い出されます。昨年10月には、新潟県自治活動賞をいただきました。これもひとえに日頃より、地域の皆様方をはじめ、大勢の皆様のご支援ご協力を頂いての賜と改めて感謝申し上げます。
活動を通して「女性一人の力は小さくても大勢集まると大きなパワーになる」ということを実感しています。
これからも、クラブ員一同女性パワーで地域の防火予防に活動してまいりたいと思つています。ご支援ご協力宜しくお願ひいたします。『火の用心』

ネイチャーあてま



●シロニカワタケ●

当間山山頂付近で、シロニカワタケを発見。この仲間のシロキクラゲは、その昔中国では、不老長寿の珍品として金より高く取引された。さっそくよく洗い、酢醤油で食べてみた。コリコリと歯ごたえがよく、とてもとても美味しかった。ただ、このきのこは、一般的には食用とされていない。また、個人差もあるかもしれない。水沢地区では当間山頂以外では見つかっていないようだ。

通信員 I・F

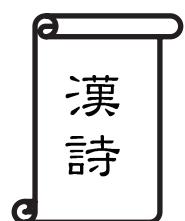
特集：ウィルスを考える。

最近でこそウィルスが話題になっているが、日本ではウィルスを論ずることはほとんど法度に近かった。

電子顕微鏡で見るウィルスの極小の世界と、天体望遠鏡で見る宇宙（極大の世界）は極めて類似していると言われている。もともと、極大も極小もすべて大自然界の物質だから、極めればおなじなのかも。

最近、どうも生命の根源はウィルス（生物と無生物の境界線）と言う説が浮上してきた。地球がビッグバンで火の玉だったころ、細菌も生物も、ウィルスさえも絶対に存在しなった。ところが、火の玉が落ち着いて海が発生し、超強力な放射能が弱まったころ、ウルトラの星からやってきたかもしれないウイルスが地獄の海で繁殖を始め、何かの突然変異で細胞を形成した？？。数千度の熱と強力な放射能に耐え、大気圏に突入できるのは世界最小の微生物「ウィルス」だけなのだ。ウルトラの星からやってきたかもしれない生命の根源、それはウィルス？？。そんな強靭な構造にもかかわらず、人体の免疫力（白血球、リンパ球）にかかる弱虫なのだから…それが人体の不思議な底力だ！

通信員 I・F



佳 慶 白 稔 豊 雲 映 著
郷 豊 風 鳴 蒼 满 渡 興
誠 風 滿 鳴 渡 興



◆編集後記◆

新年あけましておめでとうございます。
コロナ禍の中、また暮れからの大雪に見舞われ大変な新年を迎えたことと思
います。

新型コロナウイルスの影響で様々な社会活動や伝統行事が中止となりました。一日も早く終息するよう願わずにはいられません。

そんな中でも地域の情報「あんなこと」や「こんなこと」がありましたら是非ねつとわーく水沢にご投稿ください。地域の皆様とつくり上げていく情報誌であるよう
編集委員一同頑張って参りますので、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

通信員
櫻澤・
A

次回は 5 月 10 日

発行予定、お楽しみに。